

## 経営者と大学生の未来創造フォーラム

3月1日

3月1日、教育問題委員会は経済同友会高等教育機関との連携プロジェクトチーム (PT) との共催で、「経営者と大学生の未来創造フォーラム」を立命館大学大阪いばらきキャンパスにおいて開催した。本会からは、小川委員長、永井・三笠両代表幹事ら15名、経済同友会からは、日色保PT委員長 (ウォルト・ディズニー・ジャパン 取締役社長) ら14名が参加した。

関西各地から集まった約120名の学生\*は、経営者1名に対し5、6名ごとのグループに分かれ、AI時代に求められる人間の力やキャリア形成、社会課題、起業を巡って活発にディスカッションを行った。ネットワーキングでは学生が経営者に質問をぶつける姿がみられた。

\*大阪大学、大阪公立大学、関西大学、立命館大学、近畿大学、大阪成蹊学園大学、関西国際大学、京都大学、京都橘大学、京都産業大学、龍谷大学、神戸外国語大学など



同日続いて両会の会員だけで行った意見交換会・懇親会では、高等教育機関の役割や企業の関わり方について意見を交わした。人材育成について、AIと共存する時代には相当の変革が必要、即戦力という会社が求めることだけができる若者ばかりでよいのか、企業が多様な学びの選択肢を示し自主的にスキルアップする環境を整えることが重要、企業にはゆったり構えて人材を育てる姿勢が足りないといった指摘があった。インターンシップについては、単位認定を含めて学生の負担を減らす視点が必要、実践を通じて内省し教訓化する仕組みを組み込むべきといった意見、また、国は学生時代の起業に対する支援にも注目すべきといった声があがった。

